

2017年9月15日
第一生命保険株式会社

ASEAN 地域特化型ファンドへの投資について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、ASEAN地域の中堅・中小企業を投資対象とするプライベート・エクイティ・ファンド「Exacta Asia Investment II LP」に対する30百万米ドル(約33億円)の投資を決定しました。本件は高い収益性が期待できるとともに、ASEAN地域の企業への投資を通じた地域経済の活性化への貢献という社会的意義を持つ取り組みです。

本ファンドは、株式会社みずほ銀行(頭取:藤原 弘治、以下「みずほ銀行」)が39.9%を出資するExacta Capital Partners(社長:五十嵐孝太、以下「Exacta」)が運用を行います。Exactaは、ASEAN各国出身者で構成される投資チームが有するローカルネットワークに加え、みずほ銀行が有する日系企業のネットワークも活用しながら、投資先企業の選定及び企業価値向上を行っていく方針です。

また、投資先企業の選定基準の設定に当たっては、当社及び主要投資家である株式会社みずほ銀行、ドイツ投資開発会社(独・DEG - Deutsche Investitions- und Entwicklungsgesellschaft)、フランスの経済協力振興投資公社(仏・Proparco- Société de Promotion et de Participation pour la Coopération Economique)等と連携し、主にリスクの抑制を図ると共に、ASEAN地域の健全な開発・発展に資する投資を実行すべくESG¹に関する基準を組み込んでいます。

当社は、今後も機関投資家として成長分野に対する投融資の積極化を通じて運用収益の向上を図ると共に、日本・アジアの更なる経済成長に貢献していきます。

¹ E・S・G とは、それぞれ Environmental、Social、Governance の頭文字です。第一生命では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性(環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取り組み、コーポレートガバナンス等)の視点も盛り込んだ資産運用に取り組んでいます。

<本ファンドの概要>

ファンド名称	Exacta Asia Investment II LP
運用会社	Exacta Capital Partners (みずほ銀行39.9%出資)
ファンド総額	目標:250百万米ドル/上限:300百万米ドル
投資対象	ASEAN現地企業(日系合弁企業を含む)に対する投資
投資対象地域	インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、シンガポール、タイなどのASEAN各国
主要投資家	<p>・みずほ銀行 (リンク:https://www.mizuhobank.co.jp/)</p> <p>・ドイツ投資開発会社 (独・DEG-Deutsche Investitions- und Entwicklungsgesellschaft) (リンク:https://www.deginvest.de/International-financing/DEG/)</p> <p>・経済協力振興投資公社 (仏・Proparco- Société de Promotion et de Participation pour la Coopération Economique) (リンク:https://www.proparco.fr/en)</p>